

「第39回 全国設備管理強調月間」全国統一スローガン 募集要領

1. 趣 旨

全国設備管理強調月間の全国行事の一環として、広く各企業の従業員から「スローガン」を募集し、優秀作品を選考・表彰します。優秀作品のうち1点を「全国統一スローガン」に決定し、「第39回 全国設備管理強調月間」において設備管理意識の啓発・高揚を図ります。

2. 審査の対象

応募いただいた「スローガン」を審査対象とします。

3. 応募要領

(1) 応募資格：設備管理強調月間の諸活動を実施する事業場の従業員であれば、どなたでも応募可能です。

(2) 応募作品の内容および点数

- 1) 設備管理の重要性に関する内容、設備管理意識を高めることに役立つ作品であること。
- 2) 事業場単位で一括応募のこと（社内審査を行い、1事業場につき10点以内に選考し、応募する）。
- 3) 設備管理に関する用語を用いたスローガンとすること。
- 4) オリジナル作品とすること（社内ですでに発表した作品でもよい）。

なお、過去のスローガンにつきましては別項をご参照ください。

(3) 入選作品の著作権は当推進本部が所有します。広く印刷・頒布・公開されることがありますので、応募するスローガンについては、事前に社内で許可を得ておいてください。

(4) 応募作品の送付および締切り日

下記の要領で **2010年8月31日(火)** までに、全国設備管理強調月間 推進本部事務局宛に作品を送付してください。

下記の公式サイトにアクセスしていただき、応募フォームまたは応募用紙にて応募してください。

◆設備管理強調月間専用サイト

<http://www.jipm-topics.com/gekkan/>

必要事項を応募フォームに入力し送信、または、応募用紙をダウンロード後入力し、FAXまたは電子メールにて送信してください

4. 審査要領

(1) 審査機関：審査は、本月間推進本部が行います。

(2) 審査方法：下記 (3) の審査項目について厳正な審査を行います。

(3) 審査項目：次の審査項目について評価を行います。

項 目	基 準
設備管理意識向上への寄与	設備管理の重要性、設備管理の理念、従業員の心がけ等が強調されていること
独 創 性	独創的な作品であること
表 現 力	表現力の優れた作品であること

(4) 審査結果と発表

1) 審査結果

本月間推進本部にて決定された「第39回 設備管理強調月間 全国統一スローガン」（1点）に対し、賞状および副賞を贈ります。

2) 発表

入選スローガンの考案者には、10月下旬までに通知し、当会ホームページおよび当会機関誌『プラントエンジニア』誌に入選結果を発表します。

3) 入選スローガンの公開

入選スローガンは当会ホームページや印刷物等で公開し、設備管理強調月間実施企業にご活用いただきます。なお、入選スローガンの著作権は、当会の帰属となります。

(参考) 過去の全国統一スローガン

- | | | | |
|--------------|------------|---------------------|------------|
| 第1回(1973年度) | 全員参加のPMで | 作る良い品 | 良い環境 |
| 第2回(1974年度) | 全員参加のPMで | 防ごう災害 | 活かそう資源 |
| 第3回(1975年度) | 全員参加のPMで | 築く信頼 | 社会の安全 |
| 第4回(1976年度) | 全員参加のPMで | 築こう明るい企業と社会 | |
| 第5回(1977年度) | 全員参加のPMで | 伸ばそう技術 | 活かそう設備 |
| 第6回(1978年度) | 全員参加のPMで | 伸ばそう技術と設備の信頼 | |
| 第7回(1979年度) | 全員参加のPMで | 活かそう伸ばそう設備の一生 | |
| 第8回(1980年度) | TPMの推進で | 活かそう設備とエネルギー | |
| 第9回(1981年度) | TPMの推進で | 設備に強い人づくり | |
| 第10回(1982年度) | TPMの推進で | 人と設備の効率化 | |
| 第11回(1983年度) | TPMの推進で | 強い企業の体質づくり | |
| 第12回(1984年度) | TPMの推進で | 新たな挑戦大きな飛躍 | |
| 第13回(1985年度) | TPMの推進で | みなぎる活力伸びゆく企業 | |
| 第14回(1986年度) | TPMの推進で | 良い品良い人良い設備 | |
| 第15回(1987年度) | TPMの推進で | 人と設備の体質改善 | |
| 第16回(1988年度) | TPMの推進で | 技術の革新新たな飛躍 | |
| 第17回(1989年度) | TPMの推進で | 伸びゆく企業の体質強化 | |
| 第18回(1990年度) | TPMの推進で | 企業の躍進豊かな社会 | |
| 第19回(1991年度) | 世界に広がるTPMで | 明るい企業と未来の創造 | |
| 第20回(1992年度) | 世界に広がるTPMで | 人と地球にやさしい企業 | |
| 第21回(1993年度) | 世界に広がるTPMで | 住みよい地球と豊かな社会 | |
| 第22回(1994年度) | 世界に広がるTPMで | 人と設備と自然の調和 | |
| 第23回(1995年度) | 世界に広がるTPMで | 新たなチャレンジ明日への飛躍 | |
| 第24回(1996年度) | 世界に広がるTPMで | 人の輪 技術の輪 地球の輪 | |
| 第25回(1997年度) | 世界に広がるTPMで | 人と設備と技術の飛躍 | |
| 第26回(1998年度) | 世界に広がるTPMで | 技術の革新 住みよい地球 | |
| 第27回(1999年度) | 世界に広がるTPMで | 技術の革新 未来の創造 | |
| 第28回(2000年度) | TPMの推進で | 新たな時代に 大きな飛躍 | |
| 第29回(2001年度) | TPMの推進で | 創ろう 人と技術の新世紀 | |
| 第30回(2002年度) | 世界に誇れるTPMで | 築こう未来 磨こう技術 | |
| 第31回(2003年度) | TPMの推進で | 極めようモノづくり 高めよう企業価値 | |
| 第32回(2004年度) | TPMの推進で | 新たな飛躍と 未来の創造 | |
| 第33回(2005年度) | TPMの推進で | 鍛えよう 現場力 高めよう 顧客の信頼 | |
| 第34回(2006年度) | 全員参加のTPMで | 伸び行く企業と豊かな環境 | |
| 第35回(2007年度) | 創意と工夫のTPMで | 技術の革新 新たな飛躍 | |
| 第36回(2008年度) | 未来に繋がるTPMで | 技術の伝承 新たな飛躍 | |
| 第37回(2009年度) | 極める技術 | 育てる改善 | みんなが主役のTPM |
| 第38回(2010年度) | 伝える技術 | 育てる人材 | みんなが主役のTPM |

※あくまで過去の例です。これらにとらわれず、新たな発想で創作してください。

(参考)「第39回 全国設備管理強調月間」実施要領

1. 趣 旨

製造業においては、激変する経済状況の中、企業の安定成長に格段の努力を要する時代となってきました。製造業の根幹は、生産設備にあるといっても過言ではありません。そのため、設備の故障や不良等を徹底的に排除し、設備効率の極限を追求することを通じて、生産性向上、品質保証、コストダウン、保安、安全等を図ることが重要となります。

このような背景をふまえて、2011年度の本月間を実施します。

本月間は、全国各企業の経営者層をはじめ全従業員の設備管理意識を高め、TPMの推進によって設備のロスやムダを徹底的に排除し、設備の極限的活用を図ることにより、設備の総合的コストダウンならびに環境保全、災害防止に寄与することを目的とします。

2. 概 要

(1) 推進機関

社団法人日本プラントメンテナンス協会に全国設備管理強調月間推進本部を設置し、本月間の推進機関とします。

(2) 後 援

経済産業省 厚生労働省 環境省 岩手県 福岡県 (申請予定)

(3) 協 賛 (順不同)

財団法人 省エネルギーセンター	社団法人 大阪府工業協会
社団法人 全日本能率連盟	財団法人 沖縄県産業振興公社
社団法人 中部産業連盟	社団法人 山陽技術振興会
財団法人 日本科学技術連盟	社団法人 高岡アルミニウム懇話会
社団法人 日本化学工業協会	中国地区品質経営協会
財団法人 日本規格協会	社団法人 富山県機電工業会
社団法人 日本産業機械工業会	社団法人 富山県経営者協会
一般社団法人 日本自動車工業会	社団法人 北海道機械工業会
公益財団法人 日本生産性本部	社団法人みやぎ工業会
日本設備管理学会	山口県高圧ガス保安協会
社団法人 日本鉄鋼連盟	(申請予定)
社団法人 日本能率協会	
日本メンテナンス工業会	

(4) 期 間

2011年6月1日～6月30日
準備期間(5月1日～5月31日)

(5) 対 象

本月間実施要領の趣旨にご賛同いただいた事業場

〔全国設備管理強調月間に関するお問合せ先〕

社団法人 日本プラントメンテナンス協会
全国設備管理強調月間 推進本部事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3-26-33 品川ビル8階
TEL: 0120-987-631 (または03-6409-2700)
FAX: 0120-451-467 (または03-6409-2710)

E-mail: fukyu@jipm.or.jp